

平成25年度男女共同参画に関する 表彰式、全国会議及び懇談会について

6月23日から29日の男女共同参画週間にあわせて6月28日(金)に、次のとおり、表彰式、全国会議及び懇談会を開催しますので、お知らせいたします(詳細は、それぞれ別紙をご参照ください)。

① 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰、女性のチャレンジ賞、男女共同参画週間キャッチフレーズ表彰 表彰式(別紙1)

時間：11時00分～11時30分
場所：総理大臣官邸2階大ホール

② 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議(別紙2)

時間：13時00分～16時00分
場所：メルパルクホール東京

③ 男女共同参画に関する懇談会(別紙3)

時間：17時00分～18時45分
場所：総理大臣官邸2階大ホール

本件問い合わせ先：

内閣府男女共同参画局総務課

(①表彰式、③懇談会について)

電話：5253-2111(内線83708)・3581-5003(直通)

(②全国会議について)

電話：5253-2111(内線83718)・3581-2549(直通)

平成25年度
男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰、
女性のチャレンジ賞、
男女共同参画週間キャッチフレーズ表彰 表彰式について

1. 日 時：平成25年6月28日(金) 11:00～11:30
2. 場 所：総理大臣官邸2階大ホール
3. 表彰式次第（概略）
内閣総理大臣表彰 表彰状授与
内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰 表彰状授与
表彰者からのあいさつ
受賞者代表あいさつ（功労者表彰とチャレンジ賞から各1名）
※ 終了後、記念撮影を行います。
4. 受賞者概要：別添のとおり
5. 取 材：カメラ撮り可
6. 取扱い：ラジオ・テレビ・電子メディア

6月28日(金) 表彰式開始後 解禁

新聞

6月28日(金) 夕刊 解禁

本件問い合わせ先：

内閣府男女共同参画局総務課

(功労者表彰について)

電話：5253-2111 (内線83708)・3581-5003 (直通)

(チャレンジ賞について)

電話：5253-2111 (内線83703)・3581-2109 (直通)

(キャッチフレーズ表彰について)

電話：5253-2111 (内線83730)・3581-2022 (直通)

取扱い

ラジオ・テレビ・電子メディア

6月28日（金）表彰式開始後 解禁

新聞

6月28日（金）夕刊 解禁

本件連絡先

内閣府男女共同参画局総務課

総務課長 木下 茂

総務担当課長補佐 市村 直子

総括担当課長補佐 野澤 郁代

広報担当課長補佐 桐原 健郎

電話 03-3581-2111

(内 83708・83703・83730)

男女共同参画に関する表彰

○男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

○女性のチャレンジ賞

○男女共同参画週間キャッチフレーズ表彰

※ 表彰式は、6月28日（金）11：00～11：30に
総理官邸2階大ホールで実施予定

平成 2 5 年 6 月

内閣府男女共同参画局

男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰について

1 目的

この表彰は、多年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった者や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた者などを顕彰することによって、豊かで活力ある男女共同参画社会の形成に資することを目的として実施するものである。

本表彰は、平成9年度から官房長官表彰として実施してきたが、男女共同参画社会づくりに向けた取組の一層の促進を図るため、平成20年度から内閣総理大臣表彰として実施している。

2 表彰の種類及び表彰の対象

男女共同参画社会づくりに関し、極めて顕著な功績のあった個人を表彰する。(内閣総理大臣表彰)

平成25年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(50音順:敬称略)

氏名	現職等	現住所
うちなが ゆかこ 内永 ゆか子	特定非営利活動法人ジャパン・ウイメンズ・イ ノベイティブ・ネットワーク理事長	東京都
えんどう けいこ 遠藤 恵子	元(公財)せんだい男女共同参画財団理事長	宮城県
おかむら ただし 岡村 正	株式会社東芝相談役	神奈川県
くぼ やおこ 久保八百子	元群馬県農村生活アドバイザー協議会会長	群馬県
ごとう あきこ 後藤 明子	元佐賀県女性団体協議会副会長	佐賀県
ごとう すみえ 後藤 澄江	元愛知県男女共同参画審議会会長	愛知県
さかがみ ゆり 坂上 有利	元奈良県地域婦人団体連絡協議会会長	奈良県
さとう けいこ 佐藤 恵子	元青森県男女共同参画審議会会長	青森県
たかき きぬこ 高木 絹子	元熊本県男女共同参画審議会会長	熊本県
ののやま ひさや 野々山 久也	兵庫県男女共同参画審議会副会長	兵庫県
まつだ ちづこ 松田 千鶴子	(公財)ふくい女性財団理事長	福井県

平成25年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞者

【50音順:敬称略】

氏名	現住所	現職等	功績概要
うちなが ゆかこ 内永 ゆか子	東京都	特定非営利活動法人ジャパン・ウイメンズ・イノベティブ・ネットワーク理事長	業種や業態の枠を超えた女性企業人の相互研鑽、ネットワーキングの構築等のために特定非営利活動法人ジャパン・ウイメンズ・イノベティブ・ネットワーク(J-Win)を設立し、女性リーダーの育成、能力開発等を行うとともに企業経営者への情報提供、意識改革に尽力された。また内閣府男女共同参画会議議員等として、男女共同参画社会づくりの推進及び女性の地位向上に貢献された。
えんどう けいこ 遠藤 恵子	宮城県	元(公財)せんだい男女共同参画財団理事長	宮城県内市町の男女共同参画推進審議会等の会長として、男女共同参画基本計画の策定等に貢献するとともに、仙台市男女共同参画推進センター(エル・パーク仙台及びエル・ソーラ仙台)を管理する(公財)せんだい男女共同参画財団の初代理事を務め、地域の男女共同参画推進の先導役として活躍された。東日本大震災発災後は、女性の視点による被災者支援や日本女性会議2012仙台の開催に尽力し、さらに復興を先導する女性の育成に向けて取り組まれている。
おかむら ただし 岡村 正	神奈川県	株式会社東芝相談役	株式会社東芝の役員として、女性社員の活躍推進を目的とする組織的な支援を行うなど、企業活動等を通じて、仕事と生活の調和の実現、女性が働きやすい環境整備、女性の能力開発・能力発揮に対する支援に尽力された。また、内閣府男女共同参画推進連携会議議員として、男女共同参画社会づくりに向けた国民的な取組の推進に貢献されました。
くぼ やおこ 久保八百子	群馬県	元群馬県農村生活アドバイザー協議会会長	群馬県農村生活アドバイザー協議会会長として、農業委員の女性登用にかかる首長等への要請活動を積極的に行い女性登用率向上に貢献された。農村女性の代表として、ぐんま農業農村男女共同参画ステップアップ委員等を務め、群馬県全体の農業・農村における男女共同参画推進ビジョンの策定に参画するとともに、ぐんま農村女性会議会長として、女性農業者の社会参画に尽力され、現在は農業委員として、地域農業の活性化に活躍されている。
ごとう あきこ 後藤 明子	佐賀県	元佐賀県女性団体協議会副会長	18団体(当時)が加盟する佐賀県女性団体連絡協議会副会長等として、県内各地の女性団体の育成やネットワークづくりなどに尽力されるとともに、佐賀県女性海外派遣事業に参加したことで結成された「佐賀県翼の会」会長としても、女性のエンパワーメントやまちづくりを目的とする男女共同参画フォーラムの開催に尽力された。また、武雄市女性ネットワークの会代表理事として、積極的に女性の活躍の場や交流の場を広げる活動に取り組まれるなど、男女共同参画社会づくりに貢献されている。
ごとう すみえ 後藤 澄江	愛知県	元愛知県男女共同参画審議会会長	愛知県男女共同参画審議会会長として「新あいち男女共同参画プランの基本方向について」の答申のとりまとめに多大な貢献をされた。また、半田市、東海市の男女共同参画懇話会会長等として地域の男女共同参画の進展に尽力され、県内外の研修会の講師としても男女共同参画の普及・啓発に大きく寄与されている。
さかがみ ゆり 坂上 有利	奈良県	元奈良県地域婦人団体連絡協議会会長	昭和47年に地域の婦人会に入会され、その後、婦人会会長、奈良県地域婦人団体連絡協議会副会長・会長、全国地域婦人団体連絡協議会奈良県代表等に就任されるなど、永年にわたり婦人会活動を通じて女性の地位向上や男女共同参画社会づくりに貢献されている。
さとう けいこ 佐藤 恵子	青森県	元青森県男女共同参画審議会会長	女性学・女性問題・女性福祉を専門分野として、大学における学生の教育や女性リーダーの育成に長年携わるとともに、青森県男女共同参画推進条例の制定や基本計画の策定、DV基本計画の策定など、県や市町村における男女共同参画行政の推進において中心的な役割を果たし、多大な功績があった。また、自らNPO法人のメンバーとして、地域に密着した男女共同参画の推進やDV被害女性の相談・支援活動等草の根レベルの活動を長年にわたり続けてきた。近年、乳幼児を抱える母親たちが、自分らしく生きるための支援を行っている。
たかき きぬこ 高木 絹子	熊本県	元熊本県男女共同参画審議会会長	熊本県男女共同参画審議会会長として、「第2次熊本県男女共同参画計画」、「熊本県配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画」の策定に尽力されるなど、男女共同参画社会づくりに多大な貢献をされている。また、熊本県弁護士会会長に就任されるなど女性の少なかった分野でロールモデルとしても活躍されている。

<p>ののやま ひさや 野々山 久也</p>	<p>兵庫県</p>	<p>兵庫県男女共同参画審議会副会長</p>	<p>兵庫県男女共同参画審議会副会長、同政策部会長として「新ひょうご男女共同参画プラン21」などの策定に尽力された。また兵庫県家庭問題研究所所長としても男女共同参画に関連する調査研究を毎年テーマを変えながら実施するなど兵庫県男女共同参画施策の推進に貢献されている。</p>
<p>まつだ ちづこ 松田 千鶴子</p>	<p>福井県</p>	<p>(公財)ふくい女性財団理事長</p>	<p>47団体が加盟するふくい女性財団理事長として、県内の男女共同参画を進める団体の相互連携・協調を図るとともに、財団の公益法人化に尽力された。また、JA運営への女性参画、正組合員化や女性の視点を生かした地産地消、6次産業化に尽力するなど、農業分野における男女共同参画の推進に貢献されている。</p>

女性のチャレンジ賞について

1 目的

この表彰は、起業、NPO法人での活動、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援する団体・グループを顕彰し、チャレンジの身近なモデルを示すこと等によって男女共同参画社会の実現のための機運を高めることを目的として、平成16年度から実施している。

2 表彰の種類及び表彰の対象

- | | |
|---------------------------------|------|
| (1) 女性のチャレンジ賞（男女共同参画担当大臣賞） | 4件程度 |
| 女性の個人及び女性団体・グループを対象 | |
| (2) 女性のチャレンジ支援賞（男女共同参画担当大臣賞） | 1件程度 |
| 団体・グループを対象 | |
| (3) 女性のチャレンジ賞特別部門賞（男女共同参画担当大臣賞） | 4件程度 |
| 女性の個人及び女性団体・グループを対象 | |
| （平成25年度の特別部門は「女性活躍企業リーダー」） | |

平成25年度女性のチャレンジ賞受賞者名簿

(各賞ごと 敬称略順不同)

	氏名(団体名)	年齢	現職等	推薦者
女性のチャレンジ賞 5件	のと ゆうこ 能登 祐子	55	能代市上町自治会長 のしろ白神ネットワーク代表	秋田県
	さとう まこと 佐藤 真琴	36	株式会社PEER 代表取締役	静岡県
	あさり みょうほう 浅利 妙峰	61	有限会社糶屋本店 代表取締役社長	大分県
	よこた きょうこ 横田 響子	37	株式会社コラボラボ	お茶の水女子大学長 (一般)
	こもりた じゅんこ 籠田 淳子	47	有限会社ゼムケンサービス 代表取締役	北九州市
女性のチャレンジ 支援賞 1件	株式会社グロッシー	—	—	経済産業省 (北海道)
女性のチャレンジ賞 特別部門賞 (女性活躍企業リーダー) 4件	はやし かつしげ 林 克重	58	タカラ印刷株式会社代表取締役	福島県
	かわはらまさ たか 川原 正孝	63	株式会社ふくや代表取締役 社長	福岡県
	いごま きょうこ 生駒 京子	57	株式会社プロアシスト代表取締役	経済産業省 (大阪府)
	ふくい まきこ 福井 真紀子	46	株式会社ハーモニーレジデ ンス代表取締役	経済産業省 (東京都)

平成25年度 女性のチャレンジ賞表彰受賞者

1. 女性のチャレンジ賞(5名)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	能登 祐子(のと ゆうこ) (能代市上町自治会長 のしろ白神ネットワーク代表)	秋田県	<u>女性自治会長の先駆者として防災分野に尽力。</u> 能代第一中学校で初の女性PTA会長を務め、その後、地域活動へ積極的に参加。交流の場を欲している多くの女性の声を受け、上町自治会に女性部「上町すみれ会」を創設。女性の視点で町内の困り事の解決に向けた活動を開始し、能代市内自治会において初の女性自治会長に就任。実践をより重視した自治会活動を展開し、「自主防災組織」を立ち上げ。ハザードマップ作成、災害危険度の学習等を通じた「人との繋がり」及び「防災力向上」の取組を他に先駆けて実践する等、防災分野に尽力された。 (表彰歴) 秋田県男女共同参画社会づくり表彰ハーモニー賞(平成24年度)
2	佐藤 真琴(さとう まこと) (株式会社PEER 代表取締役)	静岡県	<u>ガン治療をしながら社会生活を送る女性患者の生活の質の向上に貢献。</u> 看護学校時代に、看護実習で受け持った白血病患者が、抗がん剤の副作用で脱毛したが、高価なかつらは治療費のため断念、他界してしまった経験から、看護学校在学中に起業した。 起業以来、「抗がん剤の副作用などで髪が抜けて日常生活が困難になった状態を、丸ごと何とかする」というコンセプトのもと、がん患者の切実なニーズに応え、経済的基盤の弱い女性も購入しやすい価格を設定、専門美容室を開業する等、がん治療しながら社会生活を送る女性患者の生活の質の向上に貢献している。 (表彰歴) 静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞 チャレンジの部受賞(平成20年度)、日経ウーマンオブザイヤー09キャリアアクリエイト部門5位、第8回日本商工会議所女性起業家大賞スタートアップ部門特別受賞、経済産業省ソーシャルビジネス55選掲載(平成21年度)。
3	浅利 妙峰(あさり みょうほう) (有限会社糶屋本店 代表取締役社長)	大分県	<u>日本古来の食材である糶を女性ならではの視点で活用。</u> 杜氏と呼ばれる男性が主流のこうじの製造現場において、自らを「こうじ屋ウーマン」と名乗りブログを通じてこうじの魅力を発信するとともに、「活用法が分かれば買ってもらえるかもしれない」と考え、こうじを使ったレシピも積極的に発信した。 また、平行して自社ブランドの開発にも取り組み、甘酒の原液である「甘糶」、江戸時代から広く使われていた「塩糶」、新たな発想による「こうじ納豆」など次々と新商品を開発し、家庭に不可欠な調味料の一つとして、塩糶を塩、甘糶を砂糖の代わりに料理に使うように売り込んだことにより、糶の認知度は飛躍的にアップした。混迷を極めていたこうじ業界を飛躍させ、廃業寸前の老舗を復活させるとともに、「塩糶」ブームの火付け役として全国の仲間に勇気をあたえた。 (表彰歴) 大分合同新聞文化賞、大分県女性のチャレンジ賞(平成24年度)
4	横田 響子(よこた きょうこ) (株式会社コラボラボ 代表取締役)	東京都	<u>女性事業主コミュニティを起業し、女性の雇用創出と働き方の選択肢を増やすことに貢献。</u> 女性社長の可能性を広げる事業継続支援サービスを軸として起業し、日本最大の女性社長コミュニティサイト「女性社長.net」の運営等、現在1300名強の女性事業主コミュニティを運営している。 また、女性経営者を支援する活動、女性の雇用を促進する活動、企業のイノベーションに貢献し、さらには、被災地企業と首都圏を中心とした女性経営者との連携支援にも貢献している等、多岐にわたり活躍をしている。 (表彰歴) APEC WES(Women and Economy Summit)イノベーター(平成23年度)
5	籠田 淳子(こもりた じゅんこ) (有限会社ゼムケンサービス 代表取締役)	福岡県	<u>男性が多数を占める建設業において、「女性だからできる経営」を実践。</u> 男性が多数を占める建設業において、新入社員から育児中、子育てが一段落した者など、多様なライフステージにある女性社員が各自の事情に応じて働けるようワークシェアリングの導入等、「女性だからできる経営」を実践している。 また、全国的に建設投資額が低迷する中、女性社員が多いことを「弱み」から「強み」へと転換するため、本業である建築業から派生した新規事業「JKDT女性建築デザインチームによるまちづくりへの挑戦」は、女性の視点をデザインや設計に生かし、「家づくり」「店づくり」「まちづくり」そして「幸せづくり」につなげていくもので、自社のみならず、全国の有志とともに進めるプロジェクトであり、店舗、住宅、医療・福祉施設などで多数の実績を残し、高い評価を受けている。 (表彰歴) 第3回北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰市長賞(個人部門)(平成21年)、第5回北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰市長賞(企業)(平成23年)

2. 女性のチャレンジ支援賞(1団体)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	株式会社グロッキー (代表取締役 北村 貴(きたむら たか))	北海道	<p><u>働く女性のムーブメントを起こすため、地域で働く女性のロールモデルを発掘し活躍をPR。</u></p> <p>北村社長がこれまで培ったネットのスキルと人脈を活用して、十勝の素晴らしい食材で外貨を稼ぎ地元を活性化するため、食品のネット通販を実施。また全国の料理研究家270名をネットワークし食のマーケティングやPRを手掛ける(株)グロッキーを設立。その後味覚教育を行う味育協会を設立し、産地の強みを活かし、食の安全性について提案を行う。</p> <p>さらに、キャリア形成や起業を目指す女性のネットワーク組織「十勝キャリアデザインネットワーク」を設立し、事務局を(株)グロッキー内に設置。北村社長が事務局長を務める。</p> <p>その活動目標は1. 管内の企業の女性管理職(課長以上)の割合が10%を超える 2. 本ネットワークを介し起業する女性が100人を超えることとし、企業内のキャリアアップを求めるとや 起業を考えることが特別ではなくなることを目指している。</p> <p>また、同組織主催の「キャリアデザイン大賞」を2011年から隔年で開催し、実行委員長として活躍。様々な働き方を通じて頑張っている女性を発掘、表彰し働く女性のロールモデルとしてPRしている。</p>

3. 女性のチャレンジ賞特別部門賞(4名)(テーマ:「女性活躍企業リーダー」)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	林 克重(はやし かつしげ) (タカラ印刷株式会社代表取締役)	福島県	<p>企業における女性起用・能力開発に積極的に取り組み、活気ある働きやすい職場環境づくりに寄与。</p> <p>1995年の北京会議に役員を参加させ、そこで学んだ企業における女性の起用・能力開発の重要性を活かし、社内の改革に取り組み、社内横断的に女性の視点・生活者の視点でのチームを結成して企画開発を行った結果、売上げアップにつながり、女性活用による成功事例を作った。 また、女性社員をパートタイマーのまま管理職として営業課長に起用するなど、やる気のある社員に機会を提供し、活気があって働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。 (表彰歴) 福島県男女共生センター誕生10年記念表彰「女と男の未来館大賞」(平成21年度)。</p>
2	川原 正孝(かわはら まさたか) (株式会社ふくや代表取締役社長)	福岡県	<p>女性社員の就業継続、育成に積極的に取り組み、女性の活躍を進める必要性・効果を発信。</p> <p>代表取締役社長として、女性社員の育児休業取得を進め、育児休業中の社員に社内報を送付したり、職場への復帰1か月前に、復帰後の勤務時間の希望や子育て環境を十分に聞き取り、可能な限り希望に沿った柔軟な復職支援を行っている。さらに、パート社員として復帰した場合でも、一定の条件を満たせば正社員への転換も可能としたり、社員がキャリアアップのために資格取得を目指す際には、男女に関わらず受験料を会社が負担する等、「男女に関わらず貴重な人材として能力を発揮して働き続けてもらいたい。」との考えから、きめ細かな取り組みを行い、女性社員の就業継続、育成に積極的に取り組んでいる。 また、平成25年5月19日に安部首相の参加のもと開催された「若者・女性活躍推進フォーラム(第8回)」では、男女共同参画の推進や仕事と家庭の両立支援の取り組みについて、企業経営者の立場から発表を行う等、女性の活躍を進める必要性・効果や、男性の理解が必要であることをわかりやすく提言・発信している。</p>
3	生駒 京子(いこま きょうこ) (株式会社プロアシスト代表取締役)	大阪府	<p>男女が同一線上で積極的に仕事に取り組むことを実践し、幹部女性を多く登用。</p> <p>「IT」という目に見えないものを売っているからこそ、一番大切にしているのは「人」を経営方針に掲げ、社員の働きやすい環境を作るとともに、男女が同一線上で積極的に仕事に取り組むことを実践し、幹部女性を多く登用している。 人材の育成には強い信念を持ち、社内外で人材育成に熱心な企業とのネットワークを構築するとともに、地域の行政・企業・大学等の女性、若者の働きやすい環境作りの様々な取組みに対して、アドバイスや講演などを通じて、積極的に協力していく姿勢は、地域において高く評価されている。 (表彰歴) 大阪市きらめき企業賞受賞(平成23年度)。</p>
4	福井 真紀子(ふくい まきこ) (株式会社ハーモニーレジデンス代表取締役)	東京都	<p>優秀なシングルマザーと女性管理職候補者の人材を企業へ紹介、女性が活躍できる機会の創出に貢献。</p> <p>2007年に日本で初めてシングルマザーの正社員人材に特化した人材紹介を開始。「女性をもっと活用したいが、先頭を走ってくれる女性のお手本がない」という企業の切実なニーズに着目。優秀なシングルマザーを100社以上の企業に「ロールモデル」としての紹介実績があり、リピート求人依頼率も90%以上。誰もが当たり前の子育てと仕事の両立ができる社会の実現に貢献することを使命に、ロールモデル・女性管理職の優秀な女性人材の紹介事業を展開している。特に女性管理職が少ないのは、「社内にリーダー候補が少ない」「居ても経験や研修を受けさせる余裕がない」という2点に着目し、選抜した女性管理職候補者に「リーダーシップ研修」を提供。研修修了者と企業が参加する、「女性管理職候補者 採用合同面接会」を開催。参加者双方から大変高い評価を得ている。女性管理職を30%にするという政府目標にも寄与している。</p>

““紅一点じゃ、足りない。”

～ 平成25年度「男女共同参画週間」の実施について ～

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。内閣府では、「男女共同参画を推進する、特に、女性が様々な分野で活躍することにより、日本が元気になることが伝わるようなキャッチフレーズ」を本年1月15日～2月28日に募集し、応募総数3,290点の中から、審査の結果、以下の3作品を選びました。

最優秀作品	紅一点じゃ、足りない。	やすもと 安本	みお 実織	様 (兵庫県)
優秀作品	女性が輝く、ニッポンが輝く。	たむら 田村	しゅんや 峻哉	様 (東京都)
優秀作品	男だけでも、女だけでも、満点はとれない。	はやし 林	じろう 次郎	様 (東京都)

最優秀作品については、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)から表彰いたします。

いまこそ、女性の活躍を！～みんなで考え、みんなで変える！～
男女共同参画社会づくりに向けての全国会議
開催について

- 1 日時：平成25年6月28日（金）13：00～16：00
- 2 場所：メルパルクホール東京（東京都港区芝公園2-5-20）
- 3 プログラム：
 - 開会挨拶
森まさこ 内閣府特命担当大臣
 - ・情勢報告
佐村知子 内閣府男女共同参画局長
 - 基調講演
「女性の活躍が切り拓く日本の未来」
坂東眞理子氏（昭和女子大学学長）
 - パネルディスカッション
（パネリスト）
青野 慶久氏（サイボウズ株式会社代表取締役社長）
勝間 和代氏（経済評論家、中央大学ビジネススクール客員教授）
島田 明氏（日本電信電話株式会社取締役総務部門長）
光畑 由佳氏（有限会社モーハウス代表取締役）
（コーディネータ）
飯田 香織氏（NHK 報道局記者、Biz+サンデーキャスター）
（オブザーバー）
男女大学生 4名
- 4 取材：
 - ・取材者は、腕章を着用の上、受付で身分証明書を提示してください。
 - ・取材場所は、所定の位置でお願いします。
 - ・取材申込登録などの詳細については、取材要領を参照してください。

【問い合わせ先】

内閣府男女共同参画局総務課

担当：課長補佐 金山治 専門職 伊藤幸子

電話：03-3581-2549（直通） FAX：03-3581-9566

平成25年6月25日
内閣府男女共同参画局

「平成25年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」取材要領

平成25年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議を6月28日（金）にメルパルクホール東京（東京都港区芝公園 2-5-20：別図1）において開催します。この会議には森内閣府特命担当大臣等が出席します。

取材要領については、下記の通りですのでよろしくご協力をお願い致します。

記

1. 取材事前申込みについて

6月27日（木）15時までに別添様式により事前に申込み登録をお願い致します。

2. 当日取材受付等

(1) 時間

12:00～13:00

(2) 場所

メルパルクホール東京（別図1）

(3) 取材位置

受付後、所定の位置で取材してください。（別図2、3）

3. 取材腕章

報道関係者等は、自社腕章（内閣記者会は内閣腕章）を着用願います。

4. 取材上の留意点

(1) 会場内では、一般来場者の妨げにならないよう係員の指示に従ってください。

(2) 開始前の場所取りは脚立1台までとします。

(3) テレビ取材位置では、音声信号を提供いたしますが、分配器を準備してください。
なお、映像信号の提供はありません。

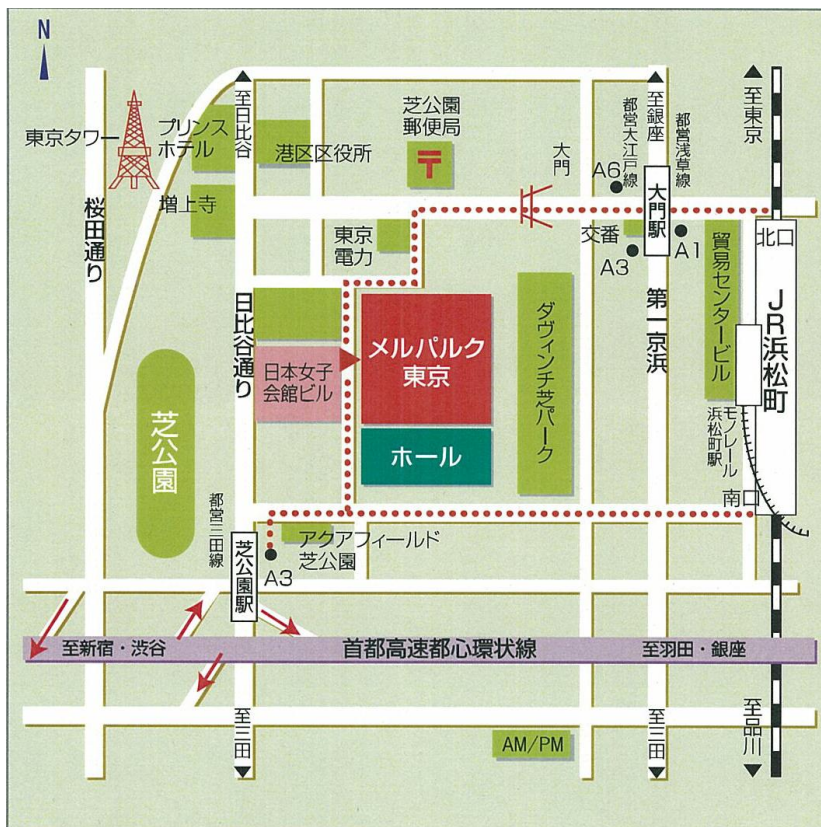
(4) 取材用の車につきましては、民間駐車場をご利用ください。

(5) メルパルクホール東京の電源は使用可能ですが、延長コードを準備してください。

(6) 場内での無線機や客席での携帯電話の使用はご遠慮ください。

別図 1

メルパルクホール東京案内図



○住所・連絡先

メルパルクホール東京

(東京都港区芝公園2-5-20 TEL: 03-3459-5501)

○交通機関のご案内

【JR 山手線・京浜東北線】

「浜松町駅」下車 北口又は南口より徒歩8分

【モノレール】

「浜松町駅」下車 北口より徒歩8分

【都営地下鉄 三田線 (東急目黒線乗入)】

「芝公園駅」下車 A3出口より徒歩2分

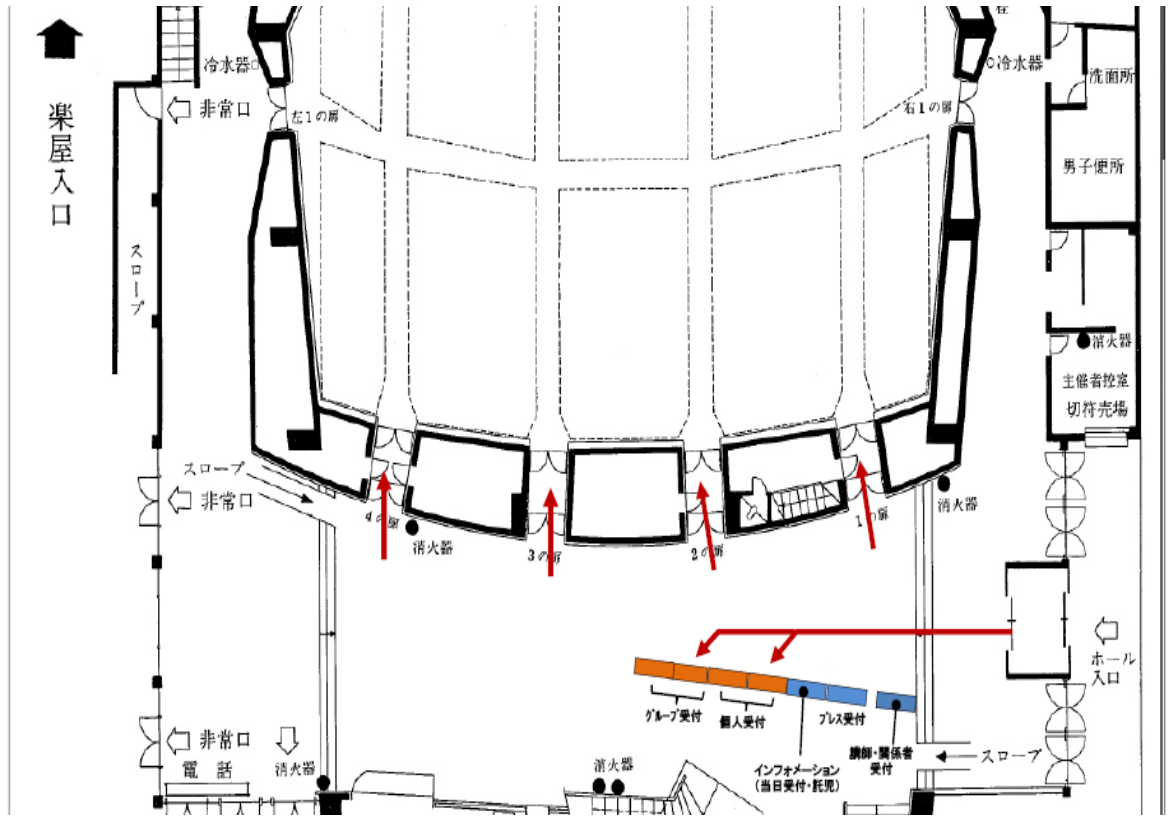
【都営地下鉄 浅草線 (京浜急行・京成乗入)、大江戸線】

「大門駅」下車 A3出口又は A6出口より徒歩4分

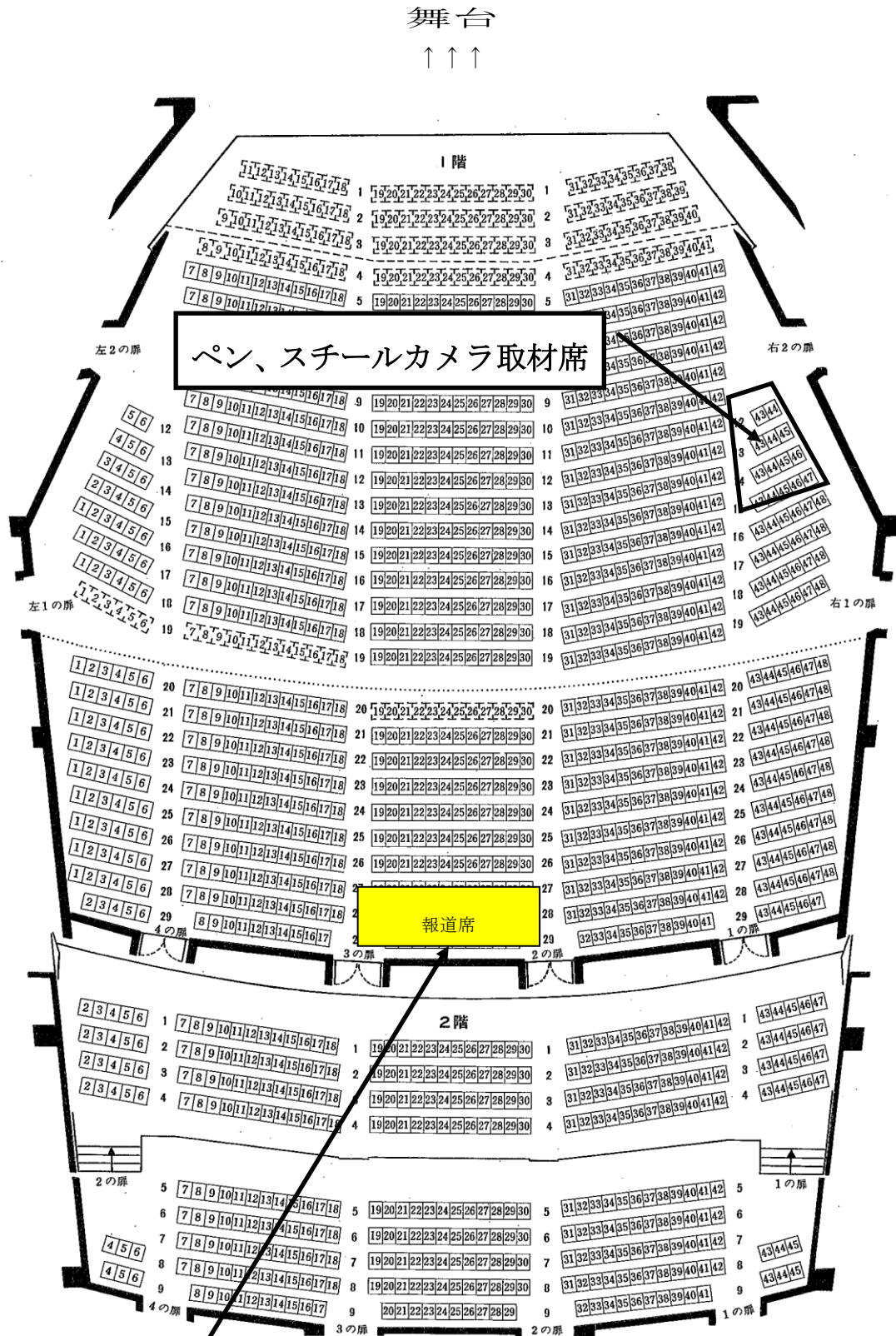
A1出口より徒歩5分

※ 車でご来場いただく場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

別図 2 メルパルクホール東京 1階ロビー (受付)



別図 3



* テレビカメラ席はホール内1階後方中央に設置します。

【FAX:03-3581-9566】

内閣府男女共同参画局総務課 金山、伊藤あて

6月27日(木)15時までに送付してください。

6/28「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」 取材事前登録

1	報道機関名	
2	記者クラブ名	
3	ふりがな 取材記者名 (携帯電話)	()
	ふりがな 取材記者名 (携帯電話)	()
	ふりがな 取材記者名 (携帯電話)	()
4	F A X 番号	
5	カメラ撮り希望	有 ・ 無
	「有」の場合 →	ムービー ・ スチール

注1: 固定取材による、1社1カメラ(ムービーは代表1社)でお願いします。

注2: 会場の1階ロビーで受付後、係員の誘導に従って入場してください。

注3: 取材の際には、必ず 自社腕章(内閣記者会は内閣腕章)を着用願います。

男女共同参画に関する懇談会について

1. 日 時：平成25年6月28日(金) 17:00～18:45

2. 場 所：総理大臣官邸2階大ホール

3. 次 第（概略）

内閣総理大臣等によるあいさつ

男女共同参画に関する表彰の受賞者紹介

懇談

4. 出席者（予定）

内閣総理大臣、内閣官房長官、男女共同参画担当大臣、

男女共同参画推進本部関係者（閣僚、各府省担当局長等）、

男女共同参画会議議員、男女共同参画推進連携会議構成員 等

5. 取 材：冒頭から表彰受賞者紹介までカメラ撮り可

本件問い合わせ先：

内閣府男女共同参画局総務課
（表彰式・懇談会について）

総務課長

木下 茂

総務担当補佐

市村 直子

電話：5253-2111（内線83708）・3581-5003（直通）